

「地区連絡会議の設置」

京都府 久御山町農業委員会 久御山町地区連絡会議

1 農業委員会の体制と市町村行政との連携状況

○ 農業委員：	14人
○ 農地利用最適化推進委員：	6人
○ 事務局職員：	4人
○ 市町村行政との連携状況：	内容に応じて調整する

(写真)

2 地区の特徴、状況、課題

- 久御山町は、京都市、宇治市、八幡市等に隣接し、巨椋池の広大なほ場や国道1号24号第二京阪道など道路交通の利便性による町の中央部を中心に工業地帯が形成されるなど農業・工業・住宅の調和のとれた地域
- 昭和29年御牧村と佐山村の2村が合併したことによる御牧地区・佐山地区、町東部の住宅開発による東角地区の3地区からなる
- 担い手が多い御牧地区は農地を求める傾向にあるが、佐山地区では農地転用が増える。



3 委員による継続した話し合いの取組内容

- 令和3年3月農業委員会による地区連絡会議を設置。
京力農場プランで1地区と位置づけているが、農業委員、推進委員を3班に分け少人数にする地域課題解決の場とする。
令和2年度はコロナ禍において設置に向けての調整が遅れたが、今後は定期的な開催を目指す。

4 成果（京力農場プランの目標実現に向けた取組内容）

(主に運動計画の「展開2」の内容)

※事例候補（地区連絡会議の単位が望ましい）の選定や作成にあたっては、農業会議の現地推進役と相談してください